

イスカンダル地域における低炭素化促進事業(フェーズ 2) (北九州市ーイスカンダル開発地域連携事業)

1 実施者 : 北九州市

日鉄エンジニアリング(株)
(株)エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所
(公財)地球環境戦略研究機関・北九州アーバンセンター
イスカンダル地域開発庁

2 事業概要

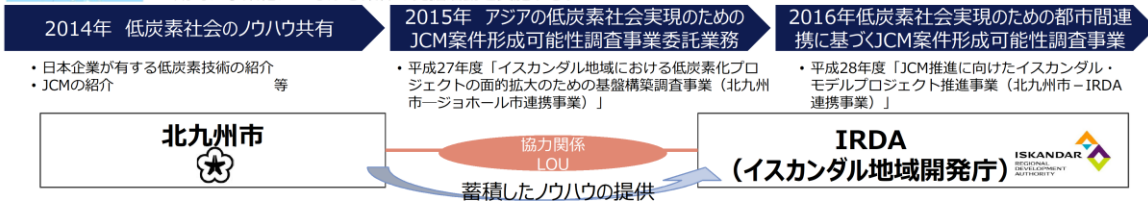
2019年度の活動では、マレーシア国イスカンダル地域開発庁 (IRDA) が策定した「低炭素社会ブループリント」の次アクションとして、産業共生型エコタウンの実現、その手段のひとつとして廃棄物発電の導入推進を図っていることがわかった。

2020年度は、脱炭素化促進のため、①産業共生型のエコタウンの実現に向けた活動、②廃棄物発電の実現に向けた活動、及び③JCM 適用案件の発掘活動を行う。



目指している低炭素社会の姿：2010年を基準としてGHGsを2025年までに58%削減を達成

- イスカンダル・マレーシアはジョホール南部の主要回廊地域に位置し、面積2217km²、人口約1.95百万人のマレーシア第二の経済都市である。北九州市はイスカンダル地域開発庁 (IRDA) と連携し2015年、2016年の都市間連携事業などを連携関係を構築してきた。
- IRDAは国際研究チームの協力を得て、2012年に「低炭素社会ブループリント」を策定しており、同計画に沿って活動を順調に展開中。
- IRDAは「低炭素社会ブループリント」の次のアクションを検討しており、産業共生、エコタウン、廃棄物発電の推進を計画中。
- 2020年度の活動は中長期的にIRDAの次のアクション実現に向けた活動を実施するとともに、更新投資が盛んなマレーシアにおいて短期的に事業化につながる案件の発掘活動を実施する。



令和2年度 脱炭素社会実現のための都市間連携事業委託業務

活動1 産業共生型のエコタウンの実現に向けた活動	活動2 廃棄物発電の実現に向けた活動	活動3 JCM適用案件の発掘活動
<p>「低炭素社会ブループリント」に示された活動を順調に展開している中、IRDAが次の重要テーマと考えている産業共生とエコタウンの同時実現を目指して、パイロットプロジェクトの組成に向けた調査活動を実施する。中長期 (3~7年以内) の事業化を目指す。</p>	<p>「低炭素社会ブループリント」に示された活動を順調に展開している中、IRDAが次の重要テーマと考えている廃棄物発電の実現を目指して、調査活動を実施する。中長期 (3~5年以内) のプロジェクトの具体化を視野に入れる。</p>	<p>工場等において設備更新ニーズの高いマレーシアにおいて、イスカンダル地域を中心にマレ工場等における廃熱回収発電、高効率な真空洗浄機、高効率なボイラーやチラー等の導入案件の事業化を目指す。短期間 (1~3年以内) の事業化が目標。但し、JCMへの参画 (政府署名) のタイミングに留意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 候補案件1：セメント工場の廃熱回収発電の導入 ➢ 候補案件2：電子電機機器工場における高効率洗浄機の導入

3 イスカンダル開発地域について



【イスカンダル開発地域】

- ・ 概要：ジョホール州最南部、シンガポール対岸のジョホールバル市を中心としたエリアがイスカンダル開発地域に指定されており、マレーシア第二の経済都市
- ・ 人口：約 195 万人
- ・ 面積：2,217km²